

腹腔鏡補助下大腸切除術を受けられる

様へ (入院診療計画書)

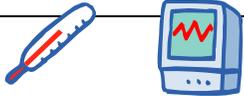
NO. 1

病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。
 入院期間については現時点で予測されるものです。ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。
 入院当日は、午前10時半頃受け付け①で入院受付を済ませ、病棟デイルームでお待ちください。
 入院の際は、この用紙を持参してください。

主治医 _____
 受け持ち看護師 _____

患者氏名 _____ 様
 家族等氏名 _____ 様
 (続柄 _____)

経過 月/日	外来	入院日	手術前日	手術日
達成目標	手術や麻酔について、心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えられること。 疾患や手術・麻酔についてご本人も家族も理解できること。			体調を整え手術にのぞめること。
治療 処置		お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めてすべて持参してください。その際、お薬手帳やお薬の説明書があれば一緒にお持ち下さい。 	手術する部位の毛をそり、おへその掃除をします。 入浴後に点滴をします。 看護師が弾性ストッキングをはくお手伝いをします。 体重測定をします。 眠れない場合は安定剤を内服していただくことができます。看護師にご相談ください。	麻酔科医師の指示により、必要な薬を飲んでいただくことがあります。 点滴を始め、手術着に着替えます。 車椅子または移動用のベッドで手術に行きます。 
検査	胸部・腹部のX線写真を撮ります。 血液検査、尿検査をします。 心電図、呼吸機能、下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)をします。	血液検査をします。 		血液検査があります。
食事		普通食です。	食事は朝から食べられませんが、経口補水液の指示がある方と手術前日入院の方は朝食まで食べられます。どちらかは看護師から説明があります。 水分(水のみ)は手術当日朝までとれます。	食事は食べられませんが、指示の時間までに経口補水液の指示のある方は飲んでください。お茶、お水も指示の時間まで飲んでかまいません。
排泄				手術前にトイレを済ませておいてください。
安静度		院内でお過ごしください。	院内でお過ごしください。	院内でお過ごしください。 
清潔	爪の長い方は爪を切ってください。マニキュアは落としてください。	入浴することができます。 必要な方には看護師がお手伝いします。 	除毛、お臍の掃除が済んでから、入浴することができます。必要な方には看護師がお手伝いします。 	お化粧品はしないでください。 手術前にうがい、歯磨きをしてください。 長髪の方は左右に結んでください。 手術前に下記のものはお取りください。 【湿布・義歯・化粧・コンタクトレンズ・金属類・ウィッグ・磁気貼付剤・補聴器・マニキュア】
説明	医師から入院、手術、治療についての説明があります。(別紙参照) 看護師から入院の準備について説明があります。 麻酔科に受診し麻酔の説明を受けます。 (ご家族も一緒に説明を聞いていただきます。お薬手帳やお薬の説明書をお持ちください。) 手術までに準備していただくもの ・タオル、ハンドタオルを数枚 ・前開きシャツを数枚 (必要な方は準備してください) ・腹帯を数枚 (売店でも購入いただけます) ・水のみ(病棟でも貸し出ししています) 	担当看護師が自宅での生活の様子などについて、お話を伺います。 看護師から入院中のこと、手術前の経過、処置、手術後の食事について説明があります。 手術後に必要な深呼吸やうがいなどの練習を行います。 入院や手術について心配なことがありましたら、担当看護師にお話してください。 主治医から、本人・ご家族へ入院・手術・治療に関する説明があります。		貴重品はご家族にあずけてください。

経過 月/日	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2~3日	術後4~5日	術後6日~退院
達成目標	術後の痛みや不快を伝えられること。	看護師の付き添いのもとで室内の歩行ができること。水分をとっても異常がおこらないこと。	食事を食べても異常が起こらないこと。 1日1回以上、廊下歩行ができること。		食事を食べても異常が起こらないこと。
治療 処置	手術後、看護師が伺い、体温や血圧測定などを行います。 点滴・酸素マスクをします。 胃管(鼻から胃に入ってくる、吐き気防止の管)、ドレーン(お腹にたまった血液などを外に出す管)が入っています。 痛み止めの持続注射、または硬膜外カテーテル(痛み止めの麻酔薬の管)が入ってきます。痛いときは痛み止めをしますので遠慮なくおっしゃってください。 熱があるときは解熱薬を使うことがあります。心電図モニターなどが付きます。	酸素マスク、心電図モニターは外せません。状態によっては数日つけておくことがあります。 胃管が抜ける予定です。回診時傷口の観察を行います。 歩行ができた方は、弾性ストッキングをぬぐことができます。	回診時、傷口の観察を行います。	回診時、傷口の観察を行います。 硬膜外カテーテルが入っている方は術後4~5日目の回診時に管を抜きます。 医師の指示により、術後4日目にドレーン(お腹にたまった血液などを外に出す管)を抜きます。	回診時、傷口の観察を行います。術後7日目の回診時、抜糸をします。
検査		血液検査をします。 胸部・腹部のX線写真を撮ります。		血液検査をします。	血液検査をします。
食事	食べたり飲んだりできません。 	医師の指示により水分が許可されます。	水分は引き続き取ることができます。お腹の痛み、吐き気がなければ手術後2日目以降から食事が始まります。(流動食→3分粥→5分粥→7分粥→全粥) 		
排泄	手術後は尿を出す管が入ってきます。便が出そうなときは看護師の介助でベッド上で便器を使用します。状態によっては術後1日目よりトイレ歩行も可能となります。			尿を出す管を抜きます。その後は全粥食になるまで尿をためてもらいます。	
安静度	ベッド上で安静にお過ごしください。体の向きを変えることができます。 	看護師の付き添いのもと立ち上がる練習を始めます。状態によっては歩行練習も行います	病院内でお過ごしください。1日1回以上は歩行練習を行いましょう。		
清潔	麻酔が覚めたらうがいができます。看護師が洗面をお手伝いします。	体を拭くことができます。看護師がお手伝いをいたします。		医師の許可が出たら、シャワー浴(ドレーン抜去後)や入浴(抜糸後)ができます。	
説明	主治医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります。			退院後の生活について説明があります。(別紙を参照) 看護師が次回の外来受診について説明します。 退院時間は午前10時の予定です。 おおよその入院費用は次のとおりです。(3割:32~34万円、但し高額医療申請をすれば約11万円程度。1割:5.5~6万円)3番窓口でお支払い下さい。	